

第 13 回 定例教育委員会

1 開催年月日

平成 21 年 11 月 26 日（木）

2 主な議事の概要

[説明事項 1] 平成 22 年度奈良県立高等学校入学者選抜における新型インフルエンザへの対応について

平成 22 年度奈良県立高等学校入学者選抜において、新型インフルエンザ流行への対応として、罹患により検査を欠席した者の受検機会を確保するため追検査を実施することについて説明があり、承認されました。

委員から、該当者の見込みや、交通事故、交通遮断の場合との考え方の違い、追検査の実施場所に関する質問があり、事務局から、追検査受検者はおよそ 1%を見込んでいること、交通事故や交通遮断の場合との違いは、この対応が新型インフルエンザの拡大防止が目的であること、追検査の実施は、作問作業の問題から教育研究所で実施することも考えているとの回答がありました。

[報告事項 1] 第 97 回奈良県産業教育審議会の要旨について

10 月 27 日に開催された第 97 回奈良県産業教育審議会の要旨について報告があり、了承されました。

委員から、平成 21 年 3 月卒業者の内定率、就職率は悪く、全体が低下しているため、経済・産業界の求める人材とのミスマッチがないよう、ものづくりだけでなく福祉の視点も組み込まれたシステム作りができるような議論ができるよう検討するようとの意見がありました。

[報告事項 2] 平成20年度における生徒指導上の諸問題の状況（小・中・高等学校における暴力行為といじめ）について

平成20年度における、「暴力行為」「いじめ」などの生徒指導上の諸問題の状況についての報告があり、了承されました。

委員から、小・中学校の状況は、市町村ごとに差があるので、全体が見渡せるところに支援チームを配置しているのかとの質問があり、事務局から、学校長、警察官のOBをペアとして、チーム2組で対症療法的に対処していること、平成19年度に小学校の高学年で発生した問題が、そのまま中学校に続いている状態にあるとの回答がありました。

また、委員から、重点的に支援チームを入れていかないと、学年が上がるごとについて行く問題であるため、集中的に対応する人を配置する方法の提案や、早い段階で徹底的に対応していかないといけないといった意見が出されました。

また、委員から、子どもたちの問題行動は、一校単位だけでなく複数校でかたまって発生しているのではとの質問に、事務局から、学校単位で見られていて、複数校単位では見られていないこと、奈良県での発生件数は、1校あたり平均4件で、秋田県や福井県では低いこと、奈良県では問題行動は、全国と比較して学校の担任の発見が多く、これは担任がよく見ている結果であるとの回答がありました。

[報告事項 3] 平成21年度学校給食に関する文部科学大臣表彰について

学校給食の普及と充実に功労のあった方々2団体が、文部科学大臣より表彰を受けられることの報告があり、了承されました。